

## 地域人材ネット

農村活性化、都市農村交流、六次産業化

曾根原久司 ( そねはらひさし )

特定非営利活動法人えがおつなげて 代表理事



### ○ 登録者情報

所在地

山梨県北杜市

## 略歴

2001年 NPO法人えがおつなげて設立  
2002年 (財)地域活性化センター 地域づくり誌コンテスト NPO法人えがおつなげて優秀賞受賞  
2003年 農林水産省第1回オーライニッポン大賞ライフスタイル賞 曾根原久司受賞  
2006年 農林水産省 立ち上がる農山漁村 NPO法人えがおつなげて優秀事例選定  
2007年 毎日新聞グリーンツーリズム大賞優秀賞 NPO法人えがおつなげて受賞  
2007年 農林水産省第5回オーライニッポン大賞 NPO法人えがおつなげて受賞  
2007年 内閣官房地域活性化伝道師に任命  
2007年 (社)農山漁村文化協会 食と農の応援団  
2008年 (財)あしたの日本を創る協会、読売新聞、NHK主催 あしたのまち・くらしづくり活動賞  
2008年 NPO法人えがおつなげて内閣総理大臣賞受賞  
2008年 経済産業省 ソーシャルビジネス55選に、NPO法人えがおつなげて選定  
2008年 朝日新聞社、森林文化協会 にほんの里百選に増富が選定  
2008年 (財)あしたの日本を創る協会、読売新聞、NHK あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣総理大臣賞受賞  
2009年 農林水産省 農山漁村地域力発掘支援モデル事業 アドバイザー  
2010年 フード・アクション・ニッポンアワード 2010 コミュニケーション・啓発部門 優秀賞受賞  
2010年 農林水産省 「食と地域の『絆』づくり」優良事例に選定  
2010年 SEOY日本プログラム ファイナリスト選出  
2012年 第9回日本パートナーシップ大賞 空と土プロジェクトがパートナーシップ大賞・中日新聞社賞受賞  
2013年 環境賞/日本エコツーリズム協会 第9回エコツーリズム大賞 特別賞受賞  
2013年 全国農業協同組合中央会 都道府県農業協同組合中央会 第43回日本農業省 食の架け橋の部大賞受賞  
2013年 山梨県 やまなし産業大賞 経営品質大賞部門 優秀賞受賞  
2014年 アショカ・ジャパン 2014年度アショカフェローとして代表理事 曾根原久司が選出  
2014年 日本経済新聞社 第2回日経ソーシャルイニシアチブ大賞 大賞受賞  
2014年 内閣官房・農林水産省 デイスカバー農山漁村の宝 優良事例に選出  
2018年 共同通信社等 地域再生大賞 選考委員長賞受賞

## 著書・論文等

『日本の田舎は宝の山』(日本経済新聞出版社)  
『農村起業家になる―地域資源を宝に変える6つの鉄則―』(日本経済新聞出版社)  
都市農山村交流による観光立県富士の国やまなしのモデル調査開発/内閣府都市再生本部  
組織を活性化させる12の法則/近代セールス(金融マーケティング誌)1995年12回連載  
風の人・土の人/公人の友社(共著)  
NPOと社会的企業の経営学 農村とNPO・社会的企業/ミネルヴァ書房  
日本農業新聞甲信越版コラム「野径をゆけば」/2009年1月～2010年3月連載  
持続可能な地域エネルギーのポテンシャル予測と活用/山梨大学(共同研究)  
山梨県早川町スローライフエネルギー創造事業調査報告書/山梨大学(共同研究)

## ○ 農村活性化、都市農村交流、六次産業化

### 取組の内容

山梨県北杜市須玉町増富地域は、かつては農林業が盛んでありましたが、現在は担い手の減少や高齢化に歯止めがかからず、集落崩壊の危機が迫る地域です。高齢化率62%、耕作放棄地62.3%、という、いわゆる限界集落となってしまった地域です。しかし、そんな状況の中、2003年4月構造改革特区認定のもと、都市農村交流を行うことにより、交流人口を増大させ、地域の活性化につなげようとする活動が始まりました。この活動の開始から約7年経過した現在、活動に賛同した農村ボランティア等も含めて都市部から約15,000人が訪れ、耕作放棄地3.5haの復活、その農地での新たな形での農業生産、また複数の企業との連携による遊休農地活用事業等の成果も現れてきています。また、2008年3月には、地域主体の地域活性化組織、増富地域再生協議会が結成され、それ以来、増富地域一丸となった形で、都市農村交流、農商工連携による地域活性化活動が展開されています。さらに、農村活性化を進めるためには、人材育成が重要であるとの認識から、さまざまな人材育成事業を行っています。えがおの学校、関東ツーリズム大学、えがお大学院等です。えがおの学校では、全国の地域に研修会場を設け、農村活性化のビジネスプラン作成のやり方を指導しています。関東ツーリズム大学では、首都圏を中心に1都10県(東京・神奈川・埼玉・山梨・長野・茨城・栃木・群馬・静岡・新潟・千葉)の範囲で、さまざまな組織と連携しながら、農村活性化を担える人材の育成を行っています。さらに、えがお大学院では、農村活性化を進める起業家を経営の側面から支援する活動を行います。このように、農村活性化の活動を、自らの実践と人材育成の両面で取り組んでおります。



大手不動産会社の酒米の田植え



大手不動産会社との連携で開発された日本酒、焼酎

## 実績

増富地域での2003年度～2009年度の新規交流人口数

- ・グリーンツーリズム参加数 延べ人数8000人
- ・農村ボランティア参加数 延べ人数3000人
- ・研修・視察等参加数 延べ人数2500人
- ・ワークショップ参加数 延べ人数1500人

増富地域での農村ボランティア等による遊休農地開墾面積 3.5ha

増富地域での企業団体等の農村活性化活動への参加数 8団体(大手不動産、和菓子店、洋菓子店、スーパーマーケット等)

増富地域での新規経済の創出規模 1億円以上

農村活性化のための人材研修参加者数 500人以上

## 工夫した点や苦勞した点

増富は、地域の担い手がほとんどいなくなってしまった地域なので、都市部からの交流人口を徐々に増やしながら、地域のファンを少しずつ増やしていく活動から始めましたが、ある一定人数の地域の担い手を創りだすまでが苦勞した点でした。

## ひとことPR

日本の農村は戦後最大のチャンスを迎えています。都市住民の農村志向、安全安心な食へのニーズ、農林業への参入を検討する企業等の動向を踏まえると、このことが確信できるはずです。今こそ、農村の再生のチャンスです。都市と農村が交流しながら、また農林漁業者と商工業者が連携しながら、日本の豊かな農村資源を使って、新しい農村ビジネスを起こし、農村の活性化を目指しましょう。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

### 関連ホームページ

特定非営利活動法人えがおつなげて	<a href="http://www.npo-egao.net">http://www.npo-egao.net</a>

### 連絡先

メールアドレス	sonehara [アットマーク] npo-egao.net		
---------	--------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。